

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 8 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会	主 査 名：三田 彰 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	環境保全および省エネルギーの観点から、良質なストックの機能・性能を良い状態に保つ良質なメンテナンスが必要である。その基本は、建物の機能・性能状態を常に把握し、正確な情報に基づいた予防措置を講じることにある。本小委員会は、こうした状況に鑑み、建物の機能・性能の状態を自動的に把握・評価する仕組みについて、学術的な観点から研究することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり  三田彰(慶大),中村充(大林組),渡壁守正(戸田建設),小林保之(東電),金子佳生(東北大),川合廣樹(ABS),酒向裕司(鹿島),篠崎祐三(東理大),柴慶治(清水建設),薛松濤(近畿大),高木政美(大成建設),濱本卓司(武蔵工大),平田京子(日女大),松本優(東京海上),森田高市(国総研)	
設置 WG (WG 名:目的)	センサおよび信号処理手法 WG:健全性診断にはセンサで取得した各種信号を収集・分析し、構造の状態との関連性を決定する高度な技術が必要となる。そのコア技術であるセンサ技術及び信号処理技術について、学術的及び応用的視点から調査検討を行うことを目的とする。	
2005 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 建築構造物の健康診断に関するワークショップ 資料名称も同じ  参加者数：84 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 学術的な面の研究は目標どおり。 2. 広めていくのに必要な枠組みの問題点をあきらかにした。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員構成を見直して新たな委員会を立ち上げる必要がある。